

県立科学技術高と三明機工(清水区)

産学連携「プロ」が先生

県立科学技術高制御工学科と産業用ロボットシステムなどを開発、製造している三明機工(静岡市清水区)が、産学連携の授業を同社で展開している。学校にはない実物の工作機械を使って現場のプロが直接指導する授業で、生徒は「理解が深まる」と興味津々だ。

産業ロボに興味津々



操作機を手に産業用ロボットを動かす生徒

|| 静岡市清水区の三明機工

産業用ロボットについて学ぶ科目「メカトロニクス応用」の一環。実機は「高価で安全確保も難しい」(岩ヶ谷孝科長)ため、授業で扱うことができなかった。より体系的な授業を進めたい学校側と、「次代を担うエンジニアを育てたい」という同社の久保田和雄社長の思いが奏功した。

30日に行われた授業では、3年生7人が従業員の手ほどきで、液晶パネルなどの製造工場で使用されているロボットを操作し、文字を書く作業に励んだ。長嶋乃祐君(17)は「ロボットに触れることが

できてより関心が深まった」と話した。

生徒たちは今後、学校プログラムを作り、同社で実際に動かす体験も行う。